

三重の文化振興の基本方向

基本目標を実現するためには下記の1～4の方向に、それを支えるしくみや体制づくりなどのための方向を加えた、5つの方向で文化振興を推進します。



文化振興の取組を重点的に支える方針

重点方針

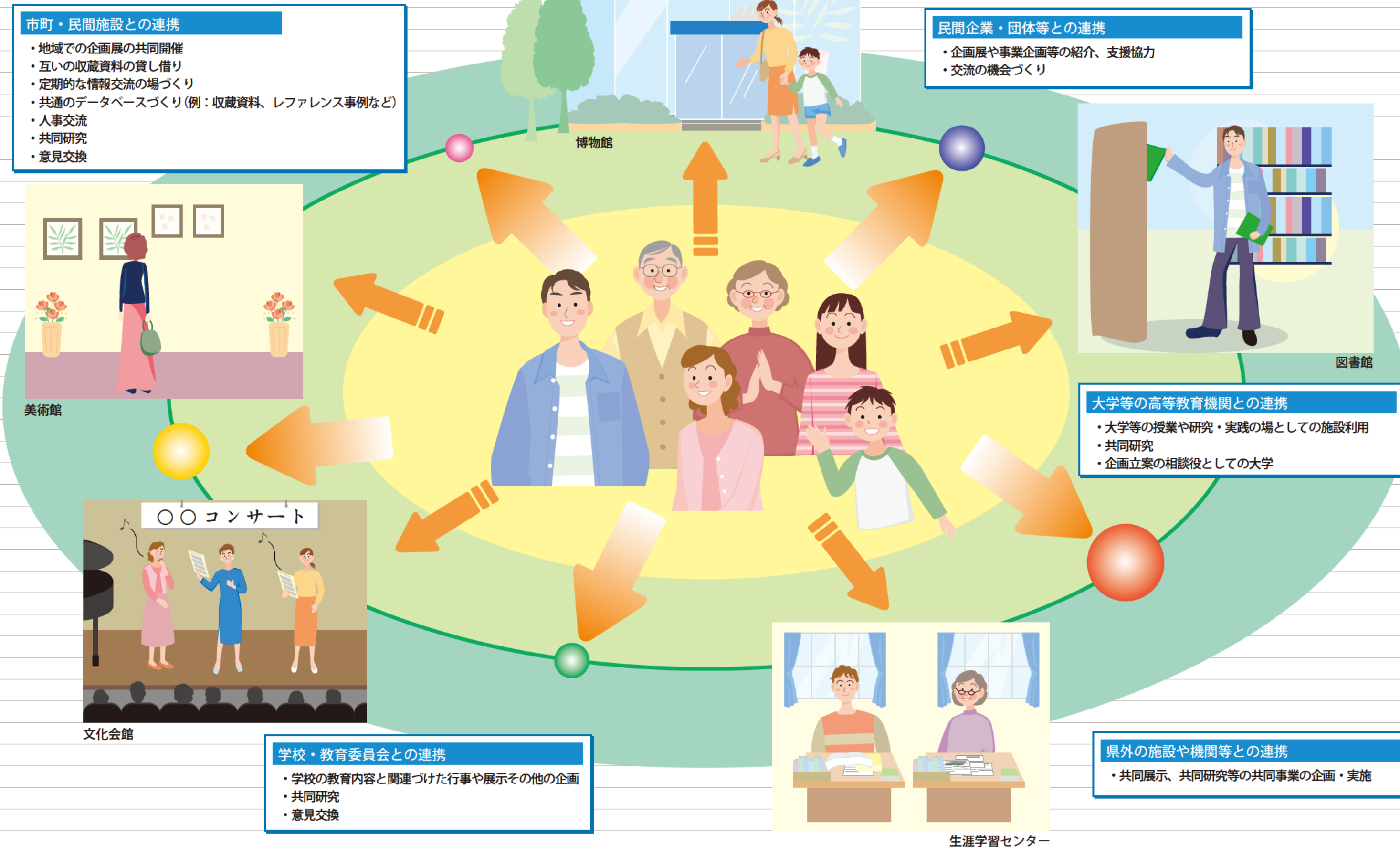
～文化振興のための拠点づくり～

- ・ 個々の拠点の充実強化
- ・ 拠点をつなぐことによる総合的な機能強化

文化振興の
基盤づくり

文化振興のための拠点づくり

～県民が主役の拠点～



なぜ拠点づくりが必要か

文化振興の拠点は多様な機能を持ち、幅広い県民が訪れ、知的探求、文化活動の場として大きな役割を果たしています。そこで、さらに県民の視点で拠点を充実強化し、拠点を通して、県民の活動を支援し、文化振興の取組を進める必要があります。

この方針では、文化振興のための拠点到にふさわしい場として、現に、幅広い県民が活用・活動する場となっている多様な文化・生涯学習施設を設定しています。

「身近な拠点」と「文化と知的探求の拠点」

県民にとって身近にある活動の拠点(＝「身近な拠点」)と、それを支援する専門性の高い拠点(＝「文化と知的探求の拠点」)があるという認識のもとで、県内の文化振興拠点間の連携を進めるとともに、人などソフト面から充実強化をはかります。

「身近な拠点」

身近な総合アクセス
ポイントとしての役割

公民館、市民活動センター、ビジターセンター、子ども支援施設など

「文化と知的探求の拠点」

専門性が高く、文化との接点、
知的探求を支援する役割

図書館、博物館、美術館、文化会館、生涯学習センターなど

連携

文化振興拠点づくりの展開方向

文化振興のために、「身近な拠点」と「文化と知的探求の拠点」との役割を想定しつつ、個々の拠点がうまく連携し合うことで拠点が網の目のようにつながり(拠点ネット)、県民の役に立てるような取組や体制づくりを進めます。

文化振興拠点において、県民は、利用者であり、さまざまな活動の主役であり、また、拠点や他の県民の活動を支援する人材としても期待されます。

文化振興拠点が人と文化を育てる拠点となり機能していくためには、利用者である県民の立場から拠点をづくり、運営していく視点が必要です。

「公共施設はみんなのためのもの」という考えのもと、県、市町、民間の企業や団体など多様な主体が関わり、発展させていく視点で取組を進めます。

展開方向 1

県民一人ひとりの身近な「場」を拓き、つなぐ

誰もが文化に親しみ、学び、成長する中で、自己実現できるよう、日々の文化活動や生涯学習の場として「身近な拠点」の充実をはかるとともに、拠点間の連携に取り組みます。

展開方向 2

県の「文化と知的探求の拠点」づくり

県が設置し、文化振興拠点として、特に重要と考えられる「図書館」、「博物館」、「美術館」、「文化会館」、「生涯学習センター」などについて、「文化と知的探求の拠点」の役割や特徴をふまえた機能の充実強化、連携などを進めます。